

名勝哲学堂公園保存活用計画



中 野 区

例 言

1. 本書は、名勝哲学堂公園（中野区松が丘一丁目1番5外96筆、新宿区西落合二丁目353番7、新宿区西落合二丁目664番1）の保存活用計画である。
2. 本業務は、中野区区民部区民文化国際課の委託を受け、株式会社森緑地設計事務所が行った。
3. 本書の作成にあたっては、学識者、区民、行政関係者から成る「名勝哲学堂公園保存活用計画検討委員会」での検討成果を反映した。
4. 本書の執筆・編集は、中野区と協議の下、株式会社森緑地設計事務所（手塚一雅 主任研究員ほか）が行い、最終的に中野区が内容の確認及び確定を行った。
5. 本書の掲載の写真は、株式会社森緑地設計事務所が撮影したほか、中野区、哲学堂公園指定管理者である日本体育施設グループにより提供された写真を使用した。なお、古写真は中野区から提供された写真を使用した。
6. 図、表、及び写真の番号は、「図、表、写真○（章）-00（通し番号）」とした。
7. 本書では、指定説明の引用（P16～P17）を除き、「井上圓了」の氏名を「井上円了」として表記した。

目 次

第 1 章 保存活用計画策定の沿革・目的

1-1	計画策定の沿革	1
1-2	保存活用計画の目的	2
1-3	名勝指定範囲と保存活用計画の対象	3
(1)	名勝の指定範囲	3
(2)	本計画の対象	5
1-4	委員会の設置・経緯	6
(1)	委員会の設置	6
(2)	委員会の経緯	7
1-5	哲学堂公園の位置づけ	8
(1)	中野区における哲学堂公園の位置づけ	8
(2)	哲学堂公園の都市計画上の位置づけ	12
1-6	計画の実施	15
1-7	名勝哲学堂公園の概要	15
(1)	指定に至る経緯	15
(2)	名勝の指定説明	16
(3)	指定に至る調査成果	20

第 2 章 哲学堂公園の沿革と構成

2-1	沿革	21
(1)	創設者 井上円了	21
(2)	由来と変遷	22
2-2	哲学堂公園の構成	45
(1)	七十七場	45
(2)	広場等	70
(3)	運動施設	74
2-3	哲学堂公園の自然	75
(1)	地形	75
(2)	植生	78
(3)	水系	90
2-4	哲学堂公園の景観	94
(1)	名勝八景	94
(2)	円了が漢詩に残した景色	94
2-5	哲学堂公園の利用	98
(1)	哲学公園の利用・運営の現状	98
(2)	イベントの現状	100
(3)	利用案内	100

第3章 哲学堂公園の本質的価値

3-1 本質的価値の明示	101
(1) 哲学を普及するために具現化させた文化的公園	101
(2) 風致と自然立地が活かされた景観と緑	101
(3) 精神修養・社会教育を継承する公園	101
3-2 構成要素の特定	102
(1) 哲学堂公園の価値を構成する諸要素の区分	102
(2) 本質的価値を構成する諸要素	103
(3) 本質的価値を構成する要素以外の諸要素	103

第4章 現状と課題

4-1 現状	105
(1) 保存に関する現状	106
(2) 活用に関する現状	144
(3) 整備に関する現状	152
(4) 運営・体制の整備に関する現状	157
4-2 課題	159
(1) 保存に関する課題	159
(2) 活用に関する課題	163
(3) 整備に関する課題	164
(4) 運営・体制の整備に関する課題	166

第5章 保存活用計画の理念と基本方針

5-1 理念と3つの柱	167
(1) 理念	167
(2) 3つの柱	167
5-2 基本方針	168
(1) 円了と玄一が築いた遺構を確実に保存し、伝える（基本方針1）	168
(2) 哲学と自然とが一体となり造り出された風致景観を保全する（基本方針2）	169
(3) 多様な主体が活動・交流する場として活用する（基本方針3）	169
5-3 ゾーン区分	171
(1) 各ゾーンの考え方	171
(2) ゾーン別保存活用の基本的な方向性	173
5-4 保存管理の方法	175
(1) 保存管理方法の考え方	175
(2) 保存管理方法の内容	175

第6章 保存

6-1	保存の方向性	177
(1)	七十七場	177
(2)	地割・地形	179
(3)	植栽	180
(4)	景観	184
6-2	保存の具体的方策	186
(1)	Aゾーン	186
(2)	Bゾーン	194
6-3	防災計画	198
(1)	防火・防犯対策	198
(2)	災害対策	199
6-4	現状変更等の取扱い	201
(1)	管理・保護に関する手続き	201
(2)	現状変更等に関する手続き	201
(3)	現状変更等の取扱い方針	202
(4)	日常の管理行為	202
(5)	現状変更等の取扱いの区分	203
6-5	追加指定	204

第7章 活用

7-1	活用の方向性	205
(1)	文化的価値の活用	205
(2)	地域の資源としての活用	205
7-2	活用の具体的方策	206
(1)	教育や学習などでの活用	206
(2)	哲学堂公園の普及と啓発	207
(3)	利用の促進・改善	208

第8章 整備

8-1	整備の方向性	209
(1)	文化財の価値を高める保存管理に関する整備	209
(2)	文化財の価値を伝える活用に関する整備	209
8-2	整備の具体的方策	210
(1)	Aゾーンの整備内容	210
(2)	Bゾーンの整備内容	212

第9章 運営・体制の整備

9-1	運営・体制の整備の方向性	213
(1)	管理運営体制	213
(2)	調査研究体制	213
(3)	多様な主体による保存活用	213
(4)	専門家への意見の聴取	213
9-2	運営・体制の整備の具体的方策	214
(1)	運営・体制	214
(2)	調査研究における人材の育成	215
(3)	運営における外部との連携	215
(4)	学識者からの意見聴取	216

第10章 施策の実施計画の策定・実施

10-1	施策の実施計画の策定・実施の方向性	217
(1)	短期・中期・長期計画の策定	217
(2)	計画の実施	217
10-2	施策の実施計画の策定・実施の具体的方策	218

第11章 今後の哲学堂公園の保存活用に向けて

(1)	哲学堂公園の所蔵品の整理と今後の展示	219
(2)	古建築物の調査と耐震補強	219
(3)	劣化した石造物の保管と展示	219
(4)	イチョウ並木の保全と名勝指定範囲の拡大	220

資料編

資料1	七十七場の順路	資料-1
資料2	景観の変化	資料-13
資料3	古写真	資料-22
資料4	有料施設の利用状況	資料-34
資料5	中野区立歴史民俗資料館の収蔵一覧表	資料-37
資料6	史資料一覧表	資料-66
資料7	哲学堂公園関連事業一覧表	資料-67
資料8	関係法令	資料-68